

和歌山への提言

劉 洋

初めて和歌山に来たとき、緑いっぱいの景色を見て、きれいな空気を吸いながら、私は心が溶けるほど気持ちよかったのだ。しかし、よりよい和歌山を作るためには、解決しなければならない問題も少なくない。ここでは、いくつかの面から提言したいと思う。

まず交通の面では、私は気が付いたのは自転車道路の問題である。私は毎日国際交流会館から大学まで自転車を運転するから、和歌山の自転車の道路があんまり狭いということを感じた。初対面の自転車があたり、ぜんぜん通らないほどの狭さはとても危ないとかんがえる。また信号が少ないから、信号のないところに交通事故にあった友達もいる。そして夜道も暗くて、怖かったと思う。それらの点から見ると、和歌山の道路の整備が必要である。

次に町の中心について、検討してみる。和歌山城が和歌山の中心をいわれている。でも私は町の中心が人の集まる場所であるべきだと思う。つまり、経済活動の中心である。しかし、和歌山では買い物センターが大変少ない。私たちはいつも大阪に行って、買い物をする。これは和歌山の経済に悪影響を及ぼすのに違いない。だから和歌山の買い物ところの建設が必要である。これも住みやすい町の建設のひとつの課題であると思う。

最後に、市民の文明意識やマナーの教育が一番大事だとも思う。和歌山では時々変な高校生がみえる。美しい心さえあれば、本当の美しい町と言える。美しい心を育てるためには、和歌山市民みんなの努力が必要である。だから私の考えでは、和歌山がこれから取り組まなければならない課題は、美しい心を育てることだ。そのためには、政府の力も大きいと思う。たとえばテレビなどで教育されたり、社会の中でおしえたりする。

これから、和歌山のよりすばらしい発展を進めるためには、目に見える生活環境を細かい面のソフト環境にも力を入れることはとても大事である。留学生としての私も、和歌山の建設者として、支えながら、自分の力を尽くしたいと思う。未来に向かって、新しい和歌山の姿を心からねがう。

